

令和四年度一般選抜試験問題

国

語

(配点一〇〇点)

令和4年1月5日(水)

9時20分～10時10分

注意事項

- 一 試験開始の合図があるまでは、この問題用紙を開いてはいけません。
- 二 この問題用紙は四ページあります。落丁、乱丁、または印刷不鮮明の箇所がありましたら、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 三 この表紙および解答用紙の指定欄に受験番号を記入してください。
- 四 解答は必ず解答用紙の指定された箇所に入してください。
- 五 問題用紙および解答用紙は、持ち帰ってはいけません。

受験番号

栃木県立衛生福祉大学校
保健看護学部 看護学科専科

I 一次の文章I・IIを読んで後の問いに答えなさい。

I
(この部分は、著作権の都合上、公開できません)

II
(この部分は、著作権の都合上、公開できません)

(この部分は、著作権の都合上、公開できません)

(この部分は、著作権の都合上、公開できません)

(出典 長谷川權 『芭蕉の風雅 あるいは虚と実について』 筑摩選書より 出題者抜粋)

問一 傍線部①～⑩のカタカナは漢字で、漢字は読み方をひらがなで記しなさい。

問二 二重傍線部①「虚に居て実をおこなふ」について、

1 「虚」・「実」が意味しているものを、Ⅰの文章中からそれぞれ五文字で抜き出して答えなさい。

2 このような考え方からすると、『おくのほそ道』はどのような作品だと筆者は言っているか。Ⅰの文章中から二十字以内で抜き出して答えなさい。

問三 二重傍線部②フィクションと同じ意味で使われている言葉を、Ⅱの文章中から抜き出して答えなさい。

問四 二重傍線部③「一家に」の句の季語と季を答えなさい。

問五 次の各句は『おくのほそ道』の旅で芭蕉が詠んだ句である。季語を手掛かりにして旅の道順に並べ替え記号で答えなさい。(例 ア↓イ↓ウ↓エ↓オ)

- ア 五月雨さみだれの降ふりのこしてや光堂
イ 蛤はまぐりのふたみにわかれ行秋ぞ
ウ むざんやな甲かぶとの下のきりぐす
エ 行春ゆくはるや鳥啼魚なまきの目は泪なみだ
オ 閑しづかさや岩いにしみ入蟬いるせみの声

問六 二重傍線部④別れをテーマにした浮き世帰りの幕開けとして女との印象的な別れの話が欲しかったとあるが、このことによつて芭蕉が成し遂げたかったことを筆者は何と説明しているか。Ⅱの文章中から十五字以内で抜き出して答えなさい。

- 二 次の慣用表現の空欄にあてはまる漢字を書きなさい。
- ① 目的を□□た意見を述べる。 的確に要点や本質を捉えること。
② 二人の友情に□□をさす。 邪魔だてすること。
③ 的確な指摘にぐうの□□も出ない。 一言も反論できないさま。
④ 気が□□けない大切な友人。 遠慮したりする必要がないこと。
⑤ 彼女とはなぜか□□が合う。 気が合うこと。
⑥ □□の額ほどの土地しかない。 面積の狭いたとえ。
⑦ 開店前に長□□の列ができる。 長く続く行列。
⑧ 難しく僕では□□が立たない。 かなわないこと。
⑨ 返事を□□を長くして待つ。 今か今かと待ち焦がれること。
⑩ □□身を惜しまず人に尽くす。 苦勞を嫌がらないこと。

三 次の四字熟語のひらがなの部分を適切な漢字に直し、意味を下段から選んで記号で答えなさい。

- ① 絶たいい絶命 ア もつれた出来事を明快に処理するさま。
② 臨きき 応変 イ 表面上の意味のほかに別の意味が隠されていること。
③ 大器ぼん成 ウ 進退のきわまった状態。
④ 快刀乱まま エ 大人物は世に出るまでに時間がかかるということ。
⑤ 意味しん長 オ その時とその場に応じて、適切な手段を施すこと。

四 次の文にはそれぞれ問題がある。正しく書き直しなさい。

- ① ここはぼくのかかりつけの店で、週二回は食事をしている。
② 出張先から買ってきたお菓子です。ひとついただいでください。